

＜ヒロシマ 連続講座＞ 第86回

特別講座

2019年10月12日(土) 14:00～17:00

長崎で被爆した韓国人「徴用工」の闘い

河井 章子さん

(韓国の原爆被害者を救援する市民の会)



←←←

今年(2019年)8月5日、広島・平和記念公園の中にある韓国人原爆犠牲者慰霊碑の前で開かれた慰霊祭。

チマチョゴリをまとった女性たちの追悼の合唱が蟬時雨の中に響き渡っていった。

朝鮮半島出身者の原爆の犠牲者の数は、「慰霊碑」には“二万余位の霊”と刻まれているのだが、実はその数ははっきりしない。ただ現時点では、「3万人」という数字が一般的に使われている。

★ 場所；愛恵ビル 3F (公益財団法人愛恵福祉支援財団)

〒114-0015 東京都北区中里 2-6-1

→JR 山手線駒込駅(東口)から徒歩2分・

または地下鉄南北線駒込駅から徒歩7分

★ 参加費；1,000円 (当日会場で集めます)

★ 会場と資料準備で、事前に申し込みをお願いします

★ 企画・申込先；竹内 良男

電話 = 090-2166-8611 アドレス = qq2g2vdd@vanilla.ocn.ne.jp



第87回

テーマ(仮題) 日本の核開発——原爆反対・原発推進の論理

2019年10月19日(土) 13:00～16:00

加藤 哲郎さん (一橋大学名誉教授)

米国発の「原爆神話」から始まり、「平和のための核」という抑止論に呑み込まれていったわが国の科学者たちの戦前からの軌跡をたどって、原爆と原発の問題を考えたい。